14　ゼゼラ　（コイ科）　兵庫県ランク：要調査

Biwia zezera　環境省ランク：VU

種の概要

全長5ｃｍ程度。平野部の浅い湖沼や池、これに連なる水路、河川敷ワンドの砂泥底に生息する。底生動物やデトリタス、藻類を食べる雑食性。 繁殖期は春から初夏で、雄が抽水植物などの根に縄張りを構え、雌の産卵後、保護する。 1年で成熟する。日本固有種で濃尾平野、琵琶湖・淀川水系、山陽地方、九州北部に分布する。

写真提供：兵庫県立人と自然の博物館（撮影：増田 修）

県内における生息状況及びその他特記事項

日本海側では円山川、由良川水系、瀬戸内海側では、加古川、揖保川水系などで記録がある。瀬戸内海側の記録も含め、県内の分布は国内移入種の可能性があり、自然分布かどうか遺伝的な精査が求められる。

保護上の留意点

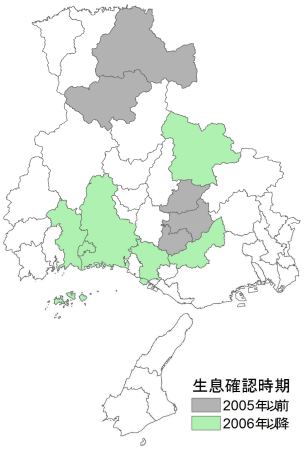
丹波市・山南では加古川の旧河道に残されたたまりに生息する（藤原，私信）。河川中・下流域の本川脇のワンドやたまりを保全する必要がある。河川のある程度の氾濫を許容し、本川の傍に一時的水域の溜りやワンドが創出される仕組み作りが求められる。

県内分布

加古川市、西脇市、三木市、小野市、加東市、姫路市、たつの市、太子町、豊岡市、養父市、丹波市

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励